



Q 沼津では今、どんなふうに「公民連携によるまちづくり」が行われているんですか？

A まちの景色を新しくし、暮らしを楽しむような創造性のあふれる取り組みや、使われなくなった公共施設の新たな活用方法など、規模も種類も様々です。

沼津市の 公民連携 による まちづくり



上／空き物件の活用を検討するリノベーションスクールでの様子。中／みんなで公園を楽しみたいという活動キャラバンパークプロジェクトの一場面。下／起業をした事業者と、サポートする市の職員。



上／「沼津市立少年自然の家」が、民間事業者の手によってリノベーションされ、おしゃれな宿泊施設「泊まれる公園 INN THE PARK」に生まれ変わりました。下／中央公園で開催された定期マーケット「週末の沼津」。週末の過ごし方の新しい提案です。



皆さんは「公民連携」という言葉を聞いたことがありますか。公民連携とは、公(自治体)と民(市民の皆さんや企業団体など)が連携して公共的な取り組みを行うこと、またはその仕組みや考え方のことをいいます。

少子高齢化などにより社会構造が変化しているなかで、これまでと同じように、そして今まで以上に沼津が「暮らしやすいまち」であり続けるために、本市では、行政と市民の皆さんの役割分担の最適化をはかり、さらなる公と民の連携によるまちづくりを推進しています。

これまで、自治会活動をはじめ、まちづくりに市民の皆さんが参加してきましたが、沼津で暮らす人たちのニーズや価値観が多様化、複雑化している昨今では、さらに地域の魅力や特性を活かしたまちづくりも求められるようになっていきます。

また、それぞれの地域の特性を活かしていくために、地域を知り、地域に愛着を持つ市民の皆さんが、これまで

よりも主体的にまちづくりに参加することが期待されています。

近年、市民の皆さんによる社会貢献活動や、企業や団体による地域貢献活動への参加意欲が高まり、地域の魅力を発展させていくことや、課題解決を目的とした、自主的な取り組みが多く見られるようになってきました。

市民の皆さんが自主的に取り組む活動のなかには、行政が担うまちづくりと交差する部分があり、公と民が知識や経験、アイデアを出し合い、それぞれの役割を分担しあうことで、より質の高い公共的なサービスを提供することができま。

沼津大好き！の高峯副市長が、公民連携によるまちづくりのギモンに答えます。

Q まちづくりって行政がやるものではないのですか？

A まちづくりの主役は市民の皆さんです！
お互いのできることを最大限に発揮しながら、すばらしい沼津をつくっていきましょう！



高峯です。

沼津市副市長、高峯聡一郎。民間企業を経て、国土交通省都市局都市計画課企画専門官として東日本大震災の復興事業に関わる。今年度から沼津市に着任。

◎まちづくり政策課

(公民連携推進プロジェクトチーム)
0555・934・4886

本市が「暮らしやすいまち」であり続けるために、今回の広報めまづでは、「沼津市の「公民連携によるまちづくり」について紹介します。

公民連携によるまちづくりは、多様な取り組みや考え方があり、100人いれば100通りの想いがあります。市では、市民の皆さんの様々な活動と連携していくために、平成27年にプロジェクトチームを組織し、様々な部署が連動して、公民連携を推進しています。